



安全データシート

Page 1 of 6

ハケ塗り粘着はがし 200ml

SDS No. : 471529

v001.1

改訂: 18.06.2015

発行日: 22.06.2015

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1848176
製品名 : ハケ塗り粘着はがし 200ml

会社名 :

ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1820
FAX番号 : +81 (45) 758-1826

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
引火性液体	区分3	
皮膚刺激性	区分2	
皮膚感作性	区分1	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3	中枢神経系
吸引性呼吸器有害性	区分1	
水生環境有害性(急性)	区分1	
水生環境有害性(長期間)	区分1	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:	H226 引火性液体及び蒸気 H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ H315 皮膚刺激 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H336 眠気又はめまいのおそれ H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P233 容器を密閉しておくこと。 P240 容器を接地すること/アースをとること。 P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。 P242 火花を発生させない工具を使用すること。 P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 P304+P340+P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分がわるいときは医師に連絡すること。 P331 無理に吐かせないこと。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：意思の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P370+P378 火災の場合：乾燥砂、粉末消火薬剤または水溶性液体用泡消火薬剤を使用する。 P391 漏出物を回収すること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

化学特性： 溶剤

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
パラフィン・ナフテン系炭化水素	45 - 50 %
ノナン	1 - 3 %
テルペン系炭化水素	45 - 55 %

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合： 流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類は交換すること。
- 眼に入った場合： 清浄な水または、洗眼液で最低15分間洗浄すること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて洗浄すること。医師の診断／手当てを受けること。移動中も眼を洗い続けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぎ、コップに1～2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
- 吸入した場合： 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火方法： 危険にさらされた容器を水噴射で冷やす。
- 消火剤： 二酸化炭素、泡、粉末、水噴射、微細な水噴霧
- 使ってはならない消火剤： 高圧水噴射
- 保護具： 自給式呼吸器を着用すること。
保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 十分な換気を保つこと。
保護具を着用すること。
こぼれた製品で滑る危険がある。
- 環境に対する注意事項 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
- 除去方法： 液体吸収材（砂、泥炭、おがくず）を用いて取り除く。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 作業室は十分に換気すること。裸火、火花等着火源を避けること。電器機器のスイッチを切ること。禁煙。溶接しないこと。廃液を下水道に流さないこと。

保管:

容器は良く換気のされた場所で保管する。
容器をしっかり密封し、霜の降らない場所に保管すること。
熱、火花、裸火またはその他の点火源の近くでの保存もしくは使用は厳禁。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

成分	日本産業衛生学会	ACGIH
パラフィン・ナフテン系炭化水素	(blank)	(blank)
ノナン	200 ppm 1,050 mg/m ³ TWA	200 ppm TWA
テルペン系炭化水素	(blank)	(blank)

保護具:

呼吸用保護具: 換気の良い場所でのみ使用すること。
眼の保護具: ぴったり閉じることができるゴーグル。
皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服

9. 物理的及び化学的性質

形状: 液体
色: 無色, 透明
臭い: 溶剤
引火点: 40 ° C (104 ° F)
比重: 0.81 g/cm³

10. 安定性及び反応性

安定性:

化学的反応性: 酸化剤と反応する。
混触危険物質: 適切に使用した場合特になし。
化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。
避けるべき条件 意図された目的に使用される場合は、無し
危険有害な分解生成物: 不明

1 1. 有害性情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分	ばく露経路	標的臓器
パラフィン・ナフテン系炭化水素	特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分3		中枢神経系
	吸引性呼吸器有害性	区分1		
テルペン系炭化水素	皮膚刺激性	区分2		
	皮膚感作性	区分1		
	吸引性呼吸器有害性	区分1		

1 2. 環境影響情報

成分	危険有害性クラス	危険有害性区分
テルペン系炭化水素	水生環境有害性(急性)	区分1
	水生環境有害性(長期間)	区分1

一般環境有害性情報: 下水管、土壌または水辺に捨てないこと。

1 3. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 廃棄物や残渣は地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法: リサイクルはパッケージを完全に空にしてから行う。

1 4. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

Class: 3
 Packing group: III
 UN no. : 1993
 Label: 3
 EmS: F-E ,S-E
 Seawater pollutant: P
 Proper shipping name: FLAMMABLE LIQUID, N. O. S. (Solvent naphtha,Nonane,Di pentene)

Air transport IATA:

Class:	3
Packing group:	III
Packing instructions (passenger)	355
Packing instructions (cargo)	366
UN no. :	1993
Label:	3
Proper shipping name:	Flammable liquid, n. o. s. (Solvent naphtha,Nonane,Dipentene)

15. 適用法令

労安法 :	名称等を通知すべき有害物 ノナン
消防法	第4類引火性液体, 第二石油類 非水溶性
毒劇物法 :	該当しない
PRTR法 :	該当しない

16. その他の情報

発行日: 22.06.2015

注意: この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。